



団体の部 優秀賞

団体名・グループ名

ようていさんるく
羊蹄山麓森あそび隊ホタルンジャー

審査委員の評価のポイント

ホタルが生息する池の周りに、車のライトや街灯の明かりを防ぐために植樹をしたり、水源探しや水生生物調査など、「ホタルの郷研究会」の支援を受けながら、大人と子どもが協力して実施していることが評価された。また、北海道にいないゲンジボタルを見たいとか本州からヘイケボタルを連れてきて増やしたい、という意見について、昔から地元にいる種類のホタルを増やすことが大切だとの気づきも重要。

活動の場所

・倶知安町「百年の森」

活動したこどもの人数

43名

活動したこどもの学年

小学1年～中学2年生

活動継続年数

2年

主な受賞歴

なし

活動グループ（学校・団体）の紹介、活動頻度

当地はエゾ富士「羊蹄山」北海道スキーのメッカ「ニセコ峰」数多い豊富な「温泉郷」を抱え、それだけに昨今のレジャー産業の急速な地域開発で、自然環境が衰退していく現況を危惧してホタルンジャーを立ち上げた。

集まりは、地域は3町、学校は8学校の学生父兄で構成、活動の場所は、平成16年より活動している「ホタルの郷研究会」が調査改善を進めているホタル生息3ヵ所の中「百年の森」を担当し、当会の支援を受けながら元来生息していた数多いホタルの復活を願い、毎月1回の集まりを持ち、ここよりホタルを通じて地域の自然環境の改善をPR、向上発展させていきたい。

活動の概要（活動の経緯も含めてご記入下さい）

活動の拠点である「百年の森」は、倶知安町の会期100年を記念して100年後の理想の森を創るべく管理人を常駐させ、平成6年に指定開園し整備育成している10ヘクタールの小さな敷地で起伏の多い森林地となっている。

この場所でホタルンジャーの活動を通じて、森と川、昆虫（ホタルなど）等そして動植物との繋がりを考え、子どもたちと勉強、改善していく事は、自然環境実践活動として、非常に有意義な事と考える。

今同じ場所で活動している「キノコ隊」また、コウモリ、カタクリの調査を進めている「百年の森ファンクラブ」等とも連携を深め、将来の「百年自然の森」の原型を子どもたちと共に作り上げていきたい。

団体名・グループ名

羊蹄山麓森あそび隊 ホタルンジャー

活動の場所（様子や環境など）

「百年の森」池、湿地

東陵中学グラウンド横湿地

タイトル

「ホタルであそぼう」

活動を始めたきっかけ（興味を持ったことなど）

祖母よりホタルの話を聞き、単純にホタルを見たいと思い、「百年の森」に行くことにしました。
そこでホタルの集りを知り、参加してみようと考え、弟と一緒に活動に参加しました。
池の水質検査、幼虫の放流、ホタルの観察等をしているうちに
小さなそれらも美しく飛べるのは、たった一生の中の1週間から10日ぐらいの
とても短い間しかなく、そうなるまでの幼虫の間の自然との過酷な環境の中での
生きる営みを知れば知るほど、この自然環境をより昔々にもあった
自然の状況を再現し、取り戻すことが、人の生活にも大切なことであることがわかりました。
これからは、少しでも改善できることを見つけ出し、ホタルが沢山飛び交うよう、
努力したいと思います。

活動の目標（やってみたいと思ったことなど）

まず、「百年の森」の全体像を知る（今までわかっていることをチャート化する）
その中から自然環境を被害しているもの（光公害・農薬害・騒音害・トによる害・外来種害など）
を見い出して対策改善を進め、より良い自然環境を創り出したいと思っています。

ホタルの飛び数はその年の天候によっても差が出るように思われますが、
今年の夏は、去年の夏より倍以上のホタルが飛んだように思われ、
放流の結果なのだと思います。来年度は放流を中止して自然増が見られるか
状況を見たいと思います。

隊長 東陵中学2年 川元 彩加

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

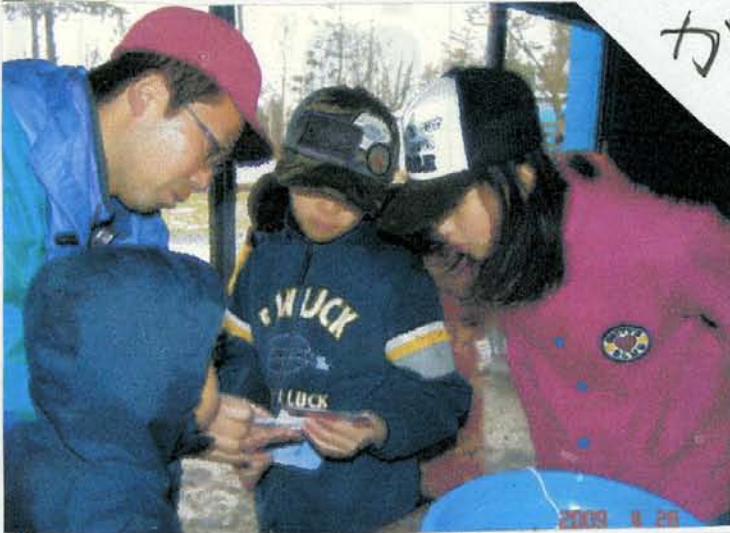
＜水しつけんさ＞

百年の森で 水しつけんさをしました。

まわりには、ゴミもおちていなく、水もきれいでよかったと思いました。夏にはホタル

がたくさん見ることができて楽しかったのて、また、たくさん見たいです。

東小3 山田一葉



＜水質検査結果＞

調べた場所	百年の森ホタル池		百年の森飼育池		百年の森 水源 ^①	備考
調べた月日	4/26	10/23	4/26	10/23	10/23	
天候 / 時間	曇り/10:30	晴れ/14:00	曇り/10:30	晴れ/14:50	晴れ/15:30	
気温 / 水温	3℃ / 11.2℃	18.5℃ / 11.8℃	3℃ / 11.2℃	18.0℃ / 11.7℃	17.0℃ / 10.5℃	
試験水温	21.3℃	16.3℃	21.3℃	19.0℃	17.0℃	
科学的酸素要求量 COD	8	10	8	8	8	
アンモニア素 NH ₄	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	
亜硝酸 "	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	
リン酸リン PO ₄	0.5	0.2	0.5	0.2	0.2	
PH測定値	6.0	6.0	6.0	6.5	6.5	
測定した人	A班	B班	B班	A班	B班	
記録した人	川元 梨加	雨谷	川元 梨加	雨谷	雨谷	

◆活動レポート用紙は、活動をした子どもたちが中心に記入してください。

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

【ホタルのよう虫を放す】

渡辺さんが、大切に育ててくださった
よう虫を百年の森の中に作ったホタル池
に放しました。最初によ虫を見た時
は黒くて、小さくて、けがはえていて、
めっちゃ気持ちわるかったです。



(よう虫 150匹)



(よう虫を放す)

よう虫150匹を集めたみんなが
ユップ1杯ずつ放流しました。
みんな、さゆいできてうれしそう
でした。これから、夏にたきさ
んのホタルの光を見てみた
いです。ホタルは、たくさん見れ
ないので、そういう場所が
増えていいと思います。

今日は、たくさんの方が集まって下さ
いました。子供達も元気に森の中を
活動したお友達と大団圓して
楽しく過ごしました。
ホタルを育てることは、
かんきょうにもいいという事
がわかりました。これから
の活動もがんばって行
きたいです。南京極小学校
5年 船場菜穂



(ぜんいんしゅうこう)



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

(カワニナとり)

今日は、かんべつに、カワニナとりに行きました。
 ちょうど田んぼのいねかりがはいていました。
 糸田よう水ろの中にいたので、川の中に入らず
 あみですくいました。ホタルは、カワニナ、タニシ
 モリアライを食べて、生きているのだそうです。
 どんな食べ方を、しているのか見てみたいです。



西小学校二年長谷川りん



1時間ほどで、420匹を取りました。
 1番大きいのは5.8cmありました。
 1.5cm以上のはよくしているホタルの
 えさとして300匹ほど、カワニナの
 水そうに入れました。残りは、ホタルの
 池にはなしました。

(1番大きいカワニナ)

一年に100匹のホタルのよう虫に「1回ワミキ」を3日に
 1度あたえるとすると840匹必要です。

毎年500匹ホタルを育てるので
 カワニナは4200匹ぐらい
 取らなければいけません。
 取る場所は、ホタルと同じ池
 とつながっている川でとります。
 ほかにカワニナの住んでいる場所
 を地いきの人に聞いてさかして
 見ようと思います。

西小4年 糸田 幸



(カワニナのいく水そう)

活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

＜ホタルンジャー旗の授与＞



ホタルンジャー旗を持った時、大きくて、少し重かったです。
でも、これからも頑張っていきたいと思います。

＜記念の木をうえる＞

百年の森のホタルがいる池は、国道のそばで、車のライトや、街燈の明かりがまぶしいので、池と道の間、にサクラの木を植え、光が入らなくなるようにしました。ホタルなどの虫が増えていけば良いと思います。



池のふちには昨年、ヤナギの木をさし木もしました。
ホタルがすっとくらしていける環境を調べて、ホタルのくらしやすい森にしたいです。

京極中学校 1年 遠藤杏樹



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト



【水シ原さがし】

森の中でどんなところから水が出て
いるのだろうと、みんなでさがしに出かけた。
とちゅう、たくさんの「セシ」のぬけがらが
あり拾いながら歩いた。①道の右がわ
の大きな木の根元に土のくずれた
ところがあり、水がたまっているところがみ

(①水のたまっているところ) つかった。

②少し歩いた左がけ下にコンクリート
の大きな土管があり、おきに水が
出ているのにおいているのがわかった。
この土管戸所から昔水をくんで飲んで
いたと、管理員さんから話があった。

らいたも取ってみたけど、布の
ような牛物でくるんであり草がいっぱ
い生えていて開けるのはやめることにした。(②コンクリートの土管)

③さらに林の中を15分ほど歩いていたら、さあにつきあたり、水が
一面にたまっている戸所があった。



これで「百年の森」の水の出る場所
が3ヶ所あることがわかった。

最初には水たまりみたいだったのが
200メートルぐらいい行ったら小川
となり、そして池となるのを見て
おどろいた。

(③さあの水たまり)

東小 四年

雨谷 健汰



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

ホタルの池にくる光をさえる木を植える

ホタルの池のすぐそばを 国道 が通っていて、車のライトが池を照らし、ホタルがすみづらくなっている。光をふせぐために 木 の林を作ることにした。大人の人におねがいをして、木を作ってもらってみんながうえることにしました。



ヤナギの木	50本
ドロの木	5本
タニウツギの木	10本
合計	65本

大人の人にも手伝ってもらって、30人ぐらいで、約1時間かけて、なんとかうえました。1年後にどれぐらい、あたらしい芽をたしてくれるか、たのしみです。

倶利伽安町立西小学校 4年
大西 漢



活動の内容や調べたこと、写真やイラスト

水生生物しらべ



秋にみんなで 百年の森にいる水生生物
をさがしました。
池の水はつめたくて土もドロドロでだれか
おっこちるんじゃないか心配していました。
でもだれもおずかに いろんな生き物を見つける
ことができました。

ほくは、トンボのよう虫をたくさんみつけました。大きくて黒くて
それがトンボになるなんてもうびっくりでした。
そのほかにも
ゲンゴロウやカマシなども
いました。

土いごにおしなの人かコイやドジョウ
をみでつかまえてみせてくれました。
銀色にひかひかひかるギンブナが
見つか、てよか、たです。とても
元気よくおよいでいました。



ここには たくさん の 生き物がくろしている
ことがわかりました。たぐらうも 生き物かけんも
にくらしてりけるようにゴミの
ポイすてをしなうこともしない
で、水をきれい(に)したりして、も
うきものが元(に)くらせるように
したいです。



西小2年 ふじもりあきひろ



平成22年 9月23日(木)

㊦ 倶知安町 百年の森

ホタルンジャー

水辺の生き物調査

	目名	科名	種名		
昆虫	トンボ	オニヤンマ	オニヤンマ	ヤゴ	北海道で一番大きいトンボ 北海道のオオレリボシヤンマは 少し小さい。
	"	ヤンマ	オオルリボシヤンマ	"	
	"	トンボ	アカトンボの仲間	"	
	"	イトトンボ	イトトンボの仲間	"	
	コらくら	ゲンゴロウ	ゲンゴロウモドキ	成虫	ゲンゴロウはお尻の所で呼吸 カムシは脚の所で呼吸する。
	"	"	ゲンゴロウの仲間	"	
	"	ミススマシ	ミススマシの仲間	"	
	"	カムシ	カムシ	"	
	カメムシ	コオイムシ	コオイムシ	"	カメムシの仲間は刺口を研ぎ いるので手でつかむときは注意。
	"	マツモムシ	マツモムシ	"	
	"	アメンボ	アメンボ	"	
	ハエ	ユスリカ	ユスリカの仲間	卵 幼虫(アカムシ)	
	トビケラ			巣のみ	幼虫は水の中で小石や植物片で ミムシのような巣をつくる種がある。
両生類	無尾目	アカガエル	エゾアカガエル	カエル	
		アマガエル	ニホンアマガエル	"	
貝類	-	カワナ	カワナ		左巻きの貝
	-	モリアラガイ	モリアラガイ サカマキガイ		
甲殻類	ヨコエビ	-	ヨコエビの仲間		
その他	ヒル	-	ヒルの仲間		
淡水魚	-	コイ	ギンフナ		本州からの移入種 北方系の魚で黒松内あたりが南限
	-	ドジョウ	フクドジョウ		

※百年の森でみかけるトンボ

- ・カワトンボ
- ・オツネイトンボ
- ・イトトンボの仲間
- ・ムカシトンボ(1回だけ)
- ・オニヤンマ
- ・オオルリボシヤンマ
- ・アキアカネ
- ・ノシメトンボ
- ・ミヤマアカネ
- ・シオヤトンボ

※その他、百年の森の水辺でよくみかける生き物

- ・エゾヤンショウウオ
- ・ニホンザリガニ
- ・ミスカマキリ
- ・カワゲラの仲間
- ・カゲロウの仲間
- ・ハイボタル
- ・ミズサザイ
- ・カルガモ・マガモ
- ・アオサギ
- ・バン
- ・オオジミギ
- ・ヒナコウモリ

活動で工夫したこと、困ったこと

学校や町内会で「ホタルンジャー」の
活動のことを話して土地の人々に知らせ
る、かめてもらうようにしました。
ホタルのことにはきょうみをもって
もらうことができていました。



でも、北海道にいないゲンジ
ボタルを見たいとか本屋からヘイケ
ボタルをつれてきて、もっとたくさんふや
そうといういけんもでてきました。
あかしから、ここにいるしゅるいの
ホタルをふやすことが大切だと思
いました。

活動で気づいたこと、感じたことやおもしろかったこと

近くのグループホームにホタルをも
ていってとんでいいるところを見てもら
いました。弟や妹と「ホタル」なるさと
なとを歌っていました。おいしいちゃん
おはあちゃんがよろこんでくれてと
てもうれしかったです。
あししいちゃんおはあちゃんから
あかしのホタルの話が聞いてよかったです。
ホタルの数をふやすだけでなく、
ホタルたちと一緒にあかせにふらせる
ようになってほしいです。



ホタルも人間もよることによって生活で
できる土場所がふえ、えとい
くといいなと思いました。元気なホタルがも
といっはいいふえ
てほしいです。

東小中学校 2年
宮崎きょう



活動からわかった課題

- ①夜の外とうかが明るすぎるのでホタルが住みにくいと思いました。
 - ②近くの畑でのうやぐが使われているのでホタルが心配です。
- 人が住んでいる近くでもホタルを育て、ふやせるようにみんなで考えてみたいと思います。
- 西小4年 納田 幸

自分たち、こどもホタルンジャーにできること

ホタルのすみやすいかんきょうにすることは、人もすみやすいかんきょうになることだと思います。
 ゴミをひろったり、川のそうじや、草刈りなど、わたしたちもみんなでき、がんばりたいと思います。

西小学校二年
 長谷川 リン



く、ホタルのすみやすいかんきょうにしたい。

大人の人と一緒に、改善していきたいこと

- ①ホタルの池のそばをとる車のライトでホタルが見えにくいので光をふせぐかこいやへいを作りたいと思います。
- ②東中学校ワラント横のホタルのよう虫をはなした所はイタドリなど草がいっぱいありゴミもあるのできちんとしてほしいです。

西小 4年 納田 幸